

2014 年度教育学研究室及び教職研究室活動報告（湘南校舎）

1. 研究室の活動

2014 年度の主な活動以下の通りである。

日程	名称	備考
4 月 3 日（木）	新入生用教職課程ガイダンス	4 月 5 日（土）伊勢原校舎
	社会教育主事ガイダンス	
	教育実習委員会	
4 月 5 日（土）	履修指導・相談日	
4 月 7 日（月）		
4 月 15 日（火）	教育実習事前指導 A ガイダンス	5 月 15 日（木）補充
4 月 16 日（水）		10 月 17 日（金）特別補充
4 月 23 日（水）	履修カルテガイダンス	5 月 9 日（金）補充
	編転入生教職基礎学力テスト	
5 月 28 日（水）	教育実習事前指導 B	6 月 19 日（木）補充 7 月 9 日（水）、10 月 8 日（水）特別補充
6 月 11 日（水）	教職教養講座	テーマ「特別支援教育における社会学的視点：相手に伝わるコミュニケーションのかたち」
7 月 2 日（水）	教員採用試験ガイダンス	
7 月 15 日（火）	教育実習報告会（協定校）	
7 月 23 日（水）	教育実習事前指導 A 集中講義	9 月 18 日（木）補充 10 月 15 日（水）、10 月 17 日（金）特別補充
9 月 18 日（木）	履修指導・相談日	
	秋学期教職課程ガイダンス	
12 月 3 日（水）	教職教養講座	テーマ：「高校の今、定時制、通信制高校で学ぶこと」
11 月 6 日（木）	教職課程運営委員会	
11 月 25 日（火）	教育実習事前指導 C ガイダンス	12 月 18 日（木）補充
11 月 26 日（水）		
1 月 21 日（水）	教育実習事前指導 C 集中講義	2 月 4 日（水）補充 4 月 27 日（月）、4 月 30 日（木）特別補充
2 月 3 日（月）	学習ボランティア報告会	
2 月 26 日（木）	全体会議	
3 月 6 日（金）	課程資格教育センター教職課程科目担当者全国会議	

年度始めの 4 月には新入生を主な対象とした教職課程ガイダンス、2 年次生を主な対象とした履修カルテガイダンス、3 年次生を対象とした教育実習事前指導 A ガイダンスを実施した。教職課程ガイダンスには 1500 名程度の新入生が出席したと思われる。続いて 5 月には教育実習事前指導 B を行った。一昨年度より、教育実習事前指導 B については、特別支援教育の理念や理論、また教育現場の実際を講義する内容に変更し、2 名の専門家を招聘して実施した。6 月は、その他に、平塚市と秦野市の協定中学校及び関東地方に所在する東海大学付属中学校・高等学校について、各教員が分担して教育実習の訪問指導を行った。7 月には、3 年次生を対象に、教育実習事前指導 A（集中講義）を実施した。内容は、元神奈川県立小田原高等学校校長の荒木高司特任教授より、

教育実習生を受け入れる立場から、教育実習全般に関するアドバイスや、教員養成に関する提案等を頂戴した（詳細は本報告の末尾に記載する）。その講義の後、「教職ポートフォリオ B」の解説と演習を行った。

秋学期には、3 年次生を対象として、教育実習の直前指導を内容とする教育実習事前指導 C ガイダンスを 11 月下旬に実施したほか、1 月には教育実習事前指導 C 集中講義を行った。教育実習事前指導 C 集中講義の内容は、教育実習を経験した 4 年生 14 名がパネラーとなり、教育学研究室所属教員 3 名による司会進行の下、シンポジウム（「教育実習報告会」）を行った。その後、秦野・平塚・相模原市教育委員会より指導主事の先生を講師としてお招きし、各教科の学習指導案（主に中学校用）・単元指導計画の解説を行った。これをもって本年度の教育実習事前指導がすべて終了した。

なお、湘南校舎において行われた本年度の「教職基礎学力テスト」（1 年次生を対象）については、春学期には、文学部、教養学部 1 学科、政治経済学部、理学部の教職論履修学生と前年度までの不合格者および未受験者を含めた 518（前年度春学期 505）名が受験した。秋学期には教養学部の残りの学科、法学部、体育学部、工学部、電子情報学部の教職論履修学生と前回の不合格者の 508（前年度秋学期 491）名が受験した。総受験者は 1026 名であり、前年度（受験者数：880 名）より増加した。

また、年度の始めに、一部の自治体（川崎市・埼玉県・相模原市・横浜市・京都府・京都市・大阪府・堺市）から依頼を受けた「教員採用候補者大学推薦選考」の学内選考を行い、川崎市へ 1 名（英語）、横浜市へ 2 名（数学、理科各 1 名）、相模原市へ 7 名（数学、理科、社会、保健体育、音楽、美術、国語各 1 名）を推薦し、その結果、横浜市で 1 名（数学 1 名）、相模原市で 4 名（数学、理科、社会、国語各 1 名）が教諭として正式に採用された。

最後に、近年、近隣自治体を中心に、いわゆる「学校ボランティア」の依頼が増加している。課程資格教育センター教育学研究室及び教職研究室では、各種ガイダンスや事前指導において学生たちに周知し、活動への参加を推奨し、また学生への事前指導等を実施している。特筆するべきものとして、昨年 5 月 1 日に秦野市（秦野市教育委員会）と教科学習支援員派遣事業に関する覚書を締結し、今年度は総計で約 33 名の学生を教科学習支援員として秦野市内の各小学校及び中学校に派遣した。

2. 研究室の教員

本年度より、教育学研究室に古里貴士専任講師が着任し、稲垣智則特任講師が専任講師に任用変更した。教職研究室については、前田善仁准教授、藤井大亮専任講師、山川勝久特任教授、荒木高司特任教授、高梨宏子特任助教が新たに着任した（高梨特任助教は 10 月より）。各教員の授業担当科目は以下の通りである。なお、教育実習 1、同 2 についてはすべての教員が担当した。

教員名	主要担当科目	所属
平野 眞	教育心理学、学習指導論、教育相談	教育学研究室
朝倉 徹	教育心理学、学習指導論、教職実践演習、視聴覚教育、英語・美術・保健体育科教育法特論、教職基礎演習 B	教育学研究室
大島 宏	教育原理、教育制度論、道德教育論	教育学研究室
稲垣 智則	教育心理学、学習指導論、教育相談	教育学研究室
古里 貴士	社会教育演習 1、同 2、社会教育計画 1、同 2、教育原理、教育制度論	教育学研究室
前田 善仁	理科教材論、理科教育法 1、同 2、特別活動論、生徒指導論、教職実践演習	教職研究室
藤井 大亮	社会科教材論、社会科・地歴科教育法 1、同 2	教職研究室
佐藤 徹（特任）	社会科・公民科教育法 1、同 2、教職実践演習	教職研究室
永井 博（特任）	教職論、生徒指導論、特別活動論、教職実践演習	教職研究室
山川 勝久（特任）	教職論、生徒指導論、特別活動論、教職実践演習	教職研究室
荒木 高司（特任）	教職論、生徒指導論、特別活動論、教職実践演習	教職研究室
高梨 宏子（特任）	教職論・教職実践演習	教職研究室

最後に、2015年3月6日に北海道分室、静岡分室、九州分室に所属している課程資格教育センター教育学研究室的教員とともにテレビ会議を実施した。この会議の開催を機に、今後、各校舎に分散する課程資格教育センター教育学研究室及び教職研究室的教員が定期的に会議を開き、互いに協力・連携していくことが申し合われた。来年度以降の本研究室活動報告は、各校舎の情報を掲載した内容に変更することを計画している（今年度は各校舎に所属する教員の一覧を記載するに留める）。

北海道分室

教員名	主要担当科目	所属
塚本 智宏	教育原理，道德教育論，生涯学習概論，教職実践演習	教育学研究室
池田 裕子	教育制度論，教育方法論，アイデンティティと共生，教職実践演習	教育学研究室
武田 克伸（特任）	教職論，教育相談，教育課程論，教職実践演習	教育学研究室

静岡分室

教員名	主要担当科目	所属
小林 俊行	教職論，学習指導論，理科教育法1，同2，理科教材論，教職実践演習	教育学研究室
富士原 雅弘	教育原理，教育制度論，道德教育論，教職実践演習	教育学研究室

九州分室

教員名	主要担当科目	所属
山下 雅彦	教育制度論，教職入門，教育学演習，教職実践演習	教育学研究室
瀧本 知加	教育原理，特別活動論，生徒指導論，道德教育論，職業指導，教職実践演習	教育学研究室

(朝倉 徹)